

祝い・願いと藁



はねばんどり



注連縄(しめなわ)



八血人形



おぼこ様



八皿舟



こも包み(婚礼用)



坂本でござり百万遍の綱(一部)



大悲丸 森の山



精霊馬

仕事と藁

遊びと藁



やせ馬



蚕座(まぶし)



養蚕そね



米背負いばんどり



しとばんどり



ころばんどり



宝船



庄内おぼこ



女丁持



いずめこ人形



いずめこ人形



祝棧俵(いわいさんだわら)



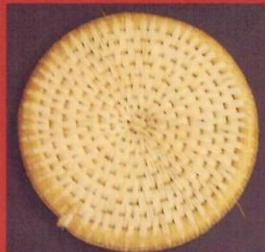
担ぎもっこ



背負畚(しょいもっこ)



藁の十二支



藁とくらし



酒田市立資料館

第147回企画展示

【開催期間】

5月24日(木)~7月22日(日)

【休館日】

期間中無休

【開館時間】

午前9時~午後4時30分

【入館料】

大人100円・小学生~大学生50円

(小中学生は土・日無料)

「藁とくらし」展の開催にあたって

藁は、稲や麦の茎を乾燥したのですが、加工し易い特性を持っています。このため、人びとは、古くから脱穀後の茎や葉を余分なものとして捨てることなく、衣・食・住は言うまでもなく、生産・運搬用具、民俗行事、遊びなどの用具の素材として幅広く用いて、そして、最後に肥料として土に返しました。

本企画展では、藁と人びとのくらしの関わり、特に「藁製品を作る道具」、「衣と藁」、「食と藁」、「住と藁」、「仕事と藁」、「祝いや願いと藁」、「遊びと藁」を中心に紹介し、藁が醸し出す素朴で温かみのある美しい造形美と、これらの製品を生み出した先人の有形・無形の知恵を考えます。

本展の開催にあたり、貴重な資料を快くご提供くださいました関係機関、各位並びにご協力賜りました多くの方々にご心からお礼申し上げます。

酒田市立資料館

【資料提供及び協力者】 上田コミュニティ振興会、亀ノ尾の里資料館、旧阿部家、宗教法人持地院、鶴岡市東田川文化記念館、八幡教育振興室、遊佐町教育委員会、楽々藁工房



藁打ち槌(横槌)

草鞋づくり台

藁沓の型(わらぐつのかた)

縄たごみ

俵編み機

筵機(むしろばた)

衣と藁



マタギのぼうし

俵ぐつ

かんじき

じんべ

藁ぼうし

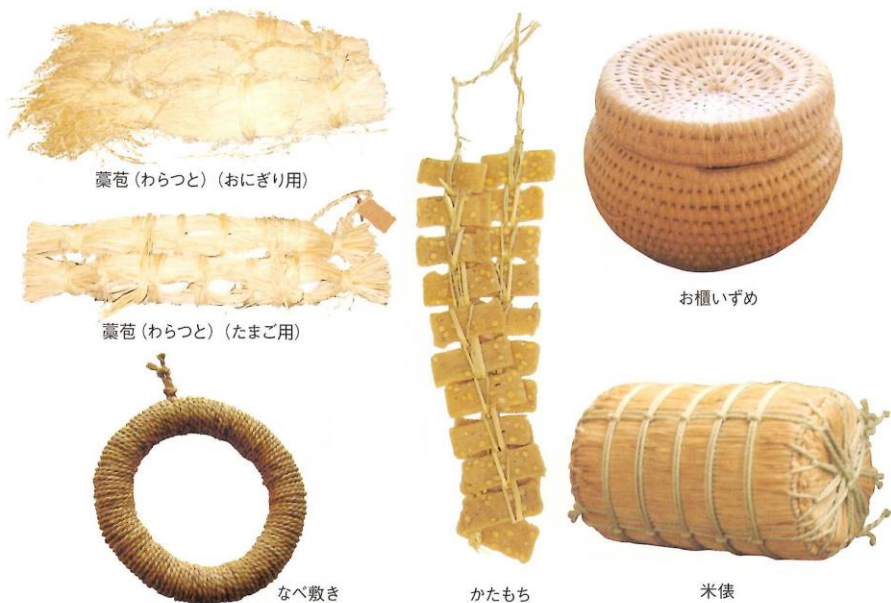
蓑(みの)

深ぐつ

雪ぐつ

爪搔け草履

食と藁



藁苞(わらつと)(おにぎり用)

お櫃いずめ

藁苞(わらつと)(たまご用)

なべ敷き

かたちち

米俵

住と藁



こもじ蒲団(繪渡川原画集)

藁筵(わらむしろ)

いずめ

土壁